

be 動詞と一般動詞

◆基本問題◆

→p.2~p.3

- 1 (1) is (2) are (3) am (4) are  
 2 (1) are (2) isn't (3) aren't (4) Is, Emi  
 3 (1) practice (2) need (3) take (4) listen  
 4 (1) likes (2) washes (3) tries (4) does  
 (5) has (6) says  
 5 (1) I don't[do not] know about the singer.  
 (2) Her brother doesn't[does not] play the piano.  
 (3) Does Ms. Miller live in this town?  
 6 (1) teaches (2) doesn't, speak  
 (3) Do, study, do  
 7 (1) watching (2) writing (3) swimming  
 8 (1) Ted is helping his mother.  
 (2) Is that boy singing?  
 (3) Emily isn't[is not] playing the piano now.  
 (4) What are you studying?

解説 3 (3) take a picture 「写真をとる」  
 (4) listen to ~ 「~(の話)を聞く」

5 (2)(3) 主語が3人称・単数なので、否定文・疑問文は does を使い、動詞は原形にする。

◆演習問題A◆

→p.4

- 1 ① gets ② walks ③ has[eats]  
 ④ comes[gets] ⑤ goes  
 2 (1) I don't like cats.  
 (2) The girl and the dog are running.  
 (3) Does Kate practice basketball after school?  
 — No, she doesn't[does not].  
 (4) My aunt is an art teacher.  
 3 (1) Mike is calling Ken.  
 (2) Emi does not have any brothers.  
 (3) What sports do you play?  
 (4) A week has seven days.  
 4 (1) No, they aren't[are not].  
 (2) Yes, he does.  
 (3) Nancy is. (4) (例) They are cooking.

解説 2 (4) 「美術を教えています」→「美術の先生です」

- 3 (2) 「1つ[1人]の…も~ない」 not ~ any ...  
 (3) 「どんな~」は〈what + 名詞〉の形で表す。  
 4 (3) 主語をたずねる疑問文なので、〈主語 + is.〉の形を使う。It's[She's] Nancy. とは言わない。

◆演習問題B◆

→p.5

- 1 (1) Your guitar is in my room.  
 (2) Jun is[comes] from Osaka.  
 (3) It's[It is] raining now.  
 (4) What do you do on Sunday(s)?  
 — We usually play soccer.  
 2 (1) (例) He's[He is] from London. He likes soccer.  
 (2) (例) I'm[I am] Yui Harada. I'm[I am] from Tokyo. I like manga.  
 3 (1) ① is ② do ③ are (2) ウ  
 (3) (例) They are talking about their pets.

解説 1 (2) 「~の出身である」 be[come] from ~

2 (1) (別解) He comes from London. He's a soccer fan. / His favorite (sport) is soccer.

3 (2) ア 写真の中で眠っているのはねこであり犬ではない。イ サユリの2番目の発言から、生後3か月だとわかる。ウ トニーの3番目の発言から、マックスは海で泳ぐことがわかる。エ サユリとトニーが写真を見ている場面である。

(全訳) サユリ：この写真を見て、トニー。私のねこの。名前はルーシーよ。

トニー：きみのねこはとてもかわいいね！ いすの上で眠っているところだね。何歳なの？

サユリ：今、3か月よ。あなたはオーストラリアで何かペットを飼っているの？

トニー：うん、飼っているよ。ええと、ぼくも写真があるよ。これがぼくの犬のマックスだよ。

サユリ：あら、あなたとあなたの犬が泳いでいるところね。

トニー：そうだよ。夏になるとマックスとぼくは浜辺を散歩するんだ。それから泳いで楽しむんだ。

サユリ：あら、ほんとうに？ 楽しそう！

トニー：うん。マックスとぼくは仲良しだよ。

## 2 一般動詞の過去形

### ◆基本問題◆

→p.6~p.7

- 1 (1) wanted (2) liked (3) lived (4) helped  
(5) studied (6) stopped (7) arrived  
(8) opened (9) dropped
- 2 (1) used (2) studied (3) washed (4) painted
- 3 (1) met (2) spoke (3) made (4) had  
(5) heard
- 4 (1) The children didn't[did not] laugh then.  
(2) The car didn't[did not] stop in front of  
the house.  
(3) Kumi didn't[did not] say goodbye to her  
friends.
- 5 (1) Did they play soccer?  
(2) Did Mike see the movie yesterday?  
(3) Did it rain hard last night?
- 6 (1) did, eat (2) Where, did, stay  
(3) Who, took
- 7 (1) did, didn't (2) liked (3) began
- 8 (1) 彼女はおもしろい本を読みました。  
(2) 私は夕食後、テレビを見ませんでした。  
(3) 彼[彼女]らは先月、京都を訪れましたか。

解説 8 (1) 主語が3人称・単数で、readに-sがついていないので、過去形だとわかる。

### ◆演習問題A◆

→p.8

- 1 (1) lived (2) start (3) saw (4) bought  
(5) wrote
- 2 (1) said (2) read, last (3) Did, did  
(4) didn't, like (5) did, call
- 3 (1) My brother helped me with my  
homework yesterday.  
(2) She didn't[did not] put the small cup on  
the table.  
(3) Did Ken's father make this chair?  
— Yes, he did.  
(4) How did she go to school?
- 4 (1) I got up early this  
(2) forty students came to the party  
(3) I didn't know him very  
(4) What did you do last

解説 2 (2) 「昨[先]～、この前の～」はlast～で表す。

3 (4) 通学方法をたずねるので、howを文頭に置いて過去の疑問文を作る。

### ◆演習問題B◆

→p.9

- 1 (1) I took these pictures.  
(2) It didn't[did not] rain yesterday.  
(3) Did she want a new bag[new bags]?  
— No, she didn't[did not].  
(4) Where did you meet[see] Taro?
- 2 ① (例) Kumi got up at seven in the  
morning.  
② (例) Kumi ate[had] lunch at noon.
- 3 (1) ① lives ② called ③ said ④ visited  
(2) 1日目：メアリーの2人の子どもと遊んだ。  
2日目：(メアリーが作ってくれた)たくさんの料理を楽しんだ。

解説 1 (2) 別解 We didn't[did not] have rain  
yesterday.

2 別解 Kumi ate[had] breakfast at seven  
thirty in the morning. / Kumi read books in  
the library from one to three in the  
afternoon. / Kumi walked her dog in the  
park at four in the afternoon. / Kumi ate  
[had] dinner at seven in the evening. / Kumi  
watched TV from eight to nine in the  
evening. / Kumi went to bed at ten at night.

3 全訳 ジム：やあ、アヤコ。何を書いているんだ  
い？

アヤコ：こんにちは、ジム。メアリーにお礼の手紙を  
書いているのよ。

ジム：メアリーってだれなの？

アヤコ：彼女は私の中学校で英語を教えていたの。で  
もこの前の7月に北海道に引っ越して、今はそこに  
ご家族と住んでいるわ。2か月ぐらい前に電話をく  
れて、「どうぞ私の家へいらっしゃい」と言ってく  
れたの。だから先月、友達のエミと彼女を訪ねたの。

ジム：そこにはどれくらい滞在したの？

アヤコ：2日間だけよ。そこは大雪だったので、私た  
ちは彼女の家に行ったの。1日目は彼女の2人の子ど  
もと遊んだのよ。2日目はたくさんの料理を楽しん  
だわ。メアリーがおいしい夕食を作ってくれたの。  
夕食後に子どもたちが私たちに歌を歌ってくれたわ。

ジム：ああ、きみは楽しいときを過ごしたんだね。

## be 動詞の過去形

### ◆基本問題◆

→p.10~p.11

- 1 (1) was (2) were (3) was (4) were
- 2 (1) was, ago  
(2) were, last  
(3) were, then  
(4) was, yesterday  
(5) were[came], this
- 3 (1) was, not  
(2) were, not  
(3) wasn't  
(4) weren't
- 4 (1) Were you hungry?  
(2) Were these books interesting?  
(3) Was Shun a good player?  
(4) Was the tree tall?
- 5 (1) Where, were  
(2) When, were  
(3) How, was  
(4) Who, was
- 6 (1) Was (2) weren't, yesterday  
(3) were, ago (4) Who, was

- 解説** 2 (1) 「～前に」は～ ago で表す。  
(2) 「昨夜」は last を使って表す。yesterday night とはしないことに注意する。  
(3) 「そのとき」は then または at that time で表す。空所の数が1つなので then になる。  
(5) 「遅刻する」は be[come] late。
- 3 (3)(4) 空所の数が1つなので短縮形の wasn't, weren't を使う。
- 5 下線部の語句を見て、疑問詞を考える。  
(1) 「音楽室に」→ Where (2) 「けさ」→ When  
(3) 「くもり」→ How (4) 「サトウ先生」→ Who  
(1)～(3) 疑問詞のあとは <was[were] + 主語 ~?> と be 動詞の過去形の疑問文の語順になる。  
(3) 天気などの状態をたずねるときは how 「どのような」を使う。  
(4) 疑問詞が主語になるので、<疑問詞 + was ~?> と肯定文と同じ語順になる。
- 6 (2) 「きのうの午前[午後, 夕方]」は yesterday morning[afternoon, evening] と yesterday を使って表す。last ~ とはしないことに注意する。  
(4) who は 3 人称・単数扱いなので was を使う。

### ◆演習問題 A◆

→p.12

- 1 (1) イ (2) エ (3) イ
- 2 (1) カ (2) オ (3) イ (4) ウ (5) ア
- 3 (1) It was rainy and cold yesterday.  
(2) I was busy, but my brothers were free at that time.  
(3) Were the children excited?  
— No, they weren't[were not].  
(4) Where were you this morning?  
(5) Who was a college student last year?
- 4 (1) was a student at  
(2) were not very famous  
(3) How was your trip  
(4) Where was he on

- 解説** 1 (1) 文の前半に「何時間もテニスを練習したが」とあるので、後半は「疲れていなかった」と否定文になるのが自然。  
(2) 文末に an hour ago とあるので過去形。
- 2 (4) 疑問詞が主語になる疑問文。主語をたずねているので、<主語 + was.> の形で答える。
- 3 (2) at that time は過去を表す語句なので、am, are の両方を過去形にかえる。  
(4) where を使って場所をたずねる疑問文にする。「けさ、あなたたちはどこにいましたか」  
(5) 「だれが」と主語をたずねる疑問文にする。疑問詞が主語になるので、肯定文と同じ語順になる。「昨年、だれが大学生だったのですか」
- 4 (2) not very ~ 「あまり～ない」の意味。  
(3) 「～はいかがでしたか」How was ~?  
(4) 日付・曜日などを表す名詞の前には、前置詞 on を使って「～に」を表す。

### ◆演習問題 B◆

→p.13

- 1 (1) The[Those] two pencils were on my desk.  
(2) Were you in Osaka three years ago?  
(3) How much was this computer last year?
- 2 (1) She was in the library.  
(2) She played it last Monday and (last) Thursday.  
(3) No, she wasn't[was not].  
(4) Emi was.
- 3 (1) ①ウ ②エ

(2) (例) He was at the concert hall.

(3) エ

**解説** ① (1) be 動詞は「いる、ある」という意味でも用いる。「～の上に」は on で表す。

(2) 2 人称(あなた、あなたたち)では単数・複数とも were を使う。

(3) 昨年の値段をたずねているので was を用いる。「～はいくらですか」How much ～?

② (1) 土曜の午前中にいた場所をたずねているので, was 「(～に)いた」を使って答える。

(2) 1 日だけでないことに注意する。

(4) 主語をたずねる疑問文なので, <主語 + was.> の形で答える。It's[She's] Emi. とは言わないことに注意する。

③ (1) ① 電話で名乗るときは This is ～. を用いる。  
② ジャックは It was unique. と答えているので, How was ～? という疑問文だと推測できる。

(2) ジャックは 2 番目の発言で, コンサート会場にいたため電話に出なかったと話している。

(3) ア ユミの最初の発言から, 電話をしたのはきょうの午後とわかる。イ ジャックの 3 番目の発言からは, ジャックが音楽に合わせた踊りを気に入ったことしかわからない。ウ ユミの 3 番目の発言参照。come from ～は「～の出身である」という意味を表す。エ 最後のやりとりから, ジャックは沖縄の踊りを独特だと思っていることがわかる。

**全訳** ジャック: もしもし。ジャックです。

ユミ: こんにちは, ジャック。ユミよ。きょうの午後, あなたに電話したのよ。知ってる?

ジャック: うん, 出なくてごめん。そのときはコンサート会場にいたんだ。

ユミ: ほんとう? どんな種類のコンサート?

ジャック: 沖縄の音楽だよ。音楽に合わせた踊りを気に入ったよ。沖縄の音楽は好き?

ユミ: ええ, とても。両親が沖縄出身なの。踊りはどうだった?

ジャック: 独特だったよ。

## 4 過去進行形

### ◆基本問題◆

→ p. 14 ~ p. 15

① (1) enjoying (2) coming (3) sitting  
(4) writing (5) looking (6) dying

② (1) were, having[eating]

(2) was, doing

(3) were, flying

(4) was, using

(5) were, running

③ (1) I wasn't[was not] reading a book then.

(2) Nancy and Ken weren't[were not] making cookies.

(3) We weren't[were not] studying math at that time.

④ (1) Was, speaking

(2) Were, you

(3) washing, was

⑤ (1) John was talking on the phone at that time.

(2) Jane was cleaning the room.

(3) The boys weren't[were not] playing a video game.

(4) Was Beth standing at the door then?

⑥ (1) What, were, We

(2) was, doing, swimming

(3) What, She, using

**解説** ① (1)(5) そのまま -ing をつける。

(2)(4) e をとって -ing をつける。

(3) t を重ねて -ing をつける。

(6) ie を y にかえて -ing をつける。

② (1) have は「～を食べる」という意味では進行形として用いることができる。

(5) run の ～ing 形は n を重ねて -ing をつける。

⑤ (1) at that time は過去の一時点を表す語句なので, 過去進行形の文にする。

(3) 過去進行形の否定文は <wasn't[weren't] + ～ing 形> の形。

(4) 過去進行形の疑問文は <Was[Were] + 主語 + ～ing 形 ...?> の形。

⑥ (1) B の空所直後の were から, A の文の主語 you は複数であることがわかる。「あなたたちは～?」とたずねられているので we で答える。

## ◆ 演習問題 A ◆

→ p.16

1 (1) ウ (2) エ (3) ア (4) エ

2 (1) was, looking  
(2) driving, was  
(3) What, talking  
(4) was, lying

3 (1) No, wasn't  
(2) doing, was  
(3) Did, Where, was

4 (1) I wasn't listening to him.  
(2) What were you writing then?  
(3) Who was taking pictures?

**解説** 1 それぞれの文に動詞の～ing形と過去の一時点を表す語句があることから、過去進行形の文になる。

(1) at ten yesterday「きのうの10時に」、(2) at midnight yesterday「きのうの夜の12時[真夜中]に」、(3) at that time「そのとき」、(4) then「そのとき」は、すべて過去の一時点を表す語句。

2 (1) 「～を探す」は look for ～。  
(2) 後半の文中の「運転していました」は前半の文の繰り返しになるので、Jane was (driving) と driving が省略されている。  
(4) lie「横たわる」の～ing形に注意する。

3 (2) Aの空所の前の were, Bの空所直後の waiting から過去進行形(was[were]+～ing形)にすると考える。A「あなたはそこで何をしていましたか」B「私は姉[妹]を待っていました」  
(3) 最初のやりとりでは、Bの答えの文の動詞が過去形 enjoyed であることから、Aは一般動詞の過去の疑問文にする。(Did+主語+動詞の原形～?)で表す。2番目のやりとりでは、Bが過去進行形を使って座っていた場所を答えていることから、Aでは場所をたずねる疑問詞 where のあとに過去進行形の疑問文の形を続ける。

4 (1) 「～(の話)を聞く」は listen to ～。  
(3) 「だれが」と主語をたずねる文なので、who のあとは肯定文と同じ(was+～ing形)の語順。

then[at that time].

(3) What were you saying then[at that time]?

2 (1) Yes, she was.

(2) No, she wasn't[was not].  
(3) She was learning shodo.

3 (例) I was having dinner with my family (then[at that time]).

4 (1) ①イ ②エ

(2) (例) 病気の犬をかばんに入れて電車で病院に連れて行くため。

**解説** 2 (2) リョウコが数学を教えていた相手は弟で、妹ではない。

3 昨晚の7時にしていたことを答える。(I was +～ing形)で表すのがポイント。必ず過去進行形を用いて答えること。

4 (1) ② 前後の流れから「犬と歩いていなかった」という文を作る。

(2) 対話の大意から読み取ってまとめる。ケンタの2番目の発言から、病気の犬を病院に連れて行ったことがわかる。take～to...は「～を…に連れて行く」の意味。4番目のルーシーとケンタのやりとりから、犬をかばんに入れて、電車を利用したことがわかる。

**全訳** ルーシー：きのう、駅の近くであなたを見かけたわよ、ケンタ。

ケンタ：へえ、そうなんだ？ 病院へ行くところだったんだよ。

ルーシー：どうかしたの？

ケンタ：ぼくはだいじょうぶ。犬の具合が良くなかったんだ。何も食べなくて。病院へ連れて行ったんだ。

ルーシー：たいへんね。でも、あなたはそのとき犬といっしょに歩いていなかったわよ。

ケンタ：そうだね。でも大きなかばんを運んでいたよ。

ルーシー：犬はかばんの中にいたの？

ケンタ：うん、そうだよ。犬とぼくは電車に乗ったんだ。

ルーシー：それは知らなかったわ。もう元気なの？

ケンタ：うん、もう元気さ。とてもうれしいよ。

## ◆ 演習問題 B ◆

→ p.17

1 (1) They were cleaning the room yesterday evening.

(2) I wasn't[was not] swimming in the river

## 5 未来の文

### ◆基本問題◆

→p.18~p.19

- 1 (1) am (2) are (3) is
- 2 (1) are, play  
(2) I'm, going  
(3) is, come  
(4) It's, going
- 3 (1) They aren't[are not] going to have lunch together.  
(2) I'm[I am] not going to see the movie tomorrow.  
(3) Are you going to write an e-mail this evening?  
(4) What (music) are you going to enjoy tonight?  
(5) Where is she going to study English?
- 4 (1) will, make  
(2) will, be  
(3) will, work
- 5 (1) will, not  
(2) Will, be  
(3) won't, go  
(4) What, will, I'll
- 6 (1) She will go shopping. [She is going shopping.]  
(2) The concert won't[will not] be great.  
(3) Will Bill sing a song in Japanese?  
(4) What time[When] will you come back?

**解説** 1 (1)~(3) tomorrow 「あした」, next ~ 「次の[来, 翌]~」, soon 「まもなく」は、すべて未来を表す語(句)。

- 2 (2)(4) 空所の数から短縮形を使う。  
(3) 主語が3人称・単数でも、to のすぐあとには動詞の原形(come)を続ける。  
(4) 天気を表すときはitを主語にする。このitは「それは」と訳さないことに注意する。
- 3 (4) what musicで「どんな音楽」,あるいはwhatのみで「何」をたずねる疑問文にする。「あなたは今夜、どんな音楽[何]を楽しむつもりですか」  
(5) 場所をたずねるwhereで始め、be going toを用いた未来の疑問文の形を続ける。
- 4 (2) willのあとは動詞の原形。be動詞の原形はbe。  
(3) 主語が3人称・単数でも、willにも、すぐあ

との動詞にも-sはつかない。

- 5 (2) 形容詞 free 「ひまな」はbe動詞と用いる。  
(3) 空所の数から短縮形を使う。「寝る」go to bed
- 6 (1) 近い未来を表す現在進行形を使ってもよい。  
(4) 時間をたずねる what time[when]で始めて、<will + 主語 + 動詞の原形 ~?>を続ける。

### ◆演習問題 A ◆

→p.20

- 1 (1) イ (2) エ (3) ア (4) ウ (5) ア (6) エ
- 2 (1) It will [It's going to] be cold tomorrow.  
(2) Will she go out this evening?  
— No, she won't[will not].  
(3) How old will your grandfather be next month?  
(4) When will he call one of his friends?  
(5) What are you going to do after dinner?
- 3 (1) are not going to spend  
(2) will be fifteen years old  
(3) are you going to do  
(4) How will the weather be  
(5) Who's going to make a speech

**解説** 1 (5) How longで始まる疑問文なのであとには疑問文の語順が続く。空所のあとにtoがあるので、ここではbe going toの文にすればよい。  
(6) 問題文はIt will soon be lunch time. 「もうすぐ昼食の時間でしょう」の疑問文。

- 2 (3) 年齢をたずねるため、how oldをwillの疑問文の前に置く。  
(4) whenを使って時をたずねる疑問文にする。  
(5) see the movie 「映画を見る」という行動について尋ねるので、「あなたは何をするつもりですか」という文を作る。
- 3 (5) 疑問詞が主語になる疑問文。who'sはwho isの短縮形。make a speech 「スピーチをする」

### ◆演習問題 B ◆

→p.21

- 1 (1) I won't be busy tomorrow.  
(2) They will have[give / hold] a concert next week.  
(3) How many hamburgers will you [are you going to] have[eat] for lunch?
- 2 (1) (例) Yes, I will. [No, I won't.]  
(2) (例) Yes, I am. [No, I'm not.]

- (3) (例) I'll [I will] go to bed at ten.  
 (4) (例) I'm [I am] going to see my friends.

3 (1) ① went ② going (2) エ (3) エ

**解説** 1 (1) 形容詞 busy 「忙しい」は be 動詞と用いる。

(2) **別解** They are having [giving / holding] a concert next week. ここでの「～を開く」は「～を開催する」の意味で, have, give, hold で表す。近い未来を表す現在進行形を使ってもよい。

(3) How many ~? を用いて未来の疑問文を作る。

- 2 (1) 「将来, 留学するつもりですか」  
 (2) (help + 人 + with + ~) で「～で(人)を手伝う」の意味。「あす, 家事でお母さんを手伝うつもりですか」  
 (3) 「今晚, 何時に寝るつもりですか」  
 (4) 「次の日曜日に関何をするつもりですか」

- 3 (1) ① some years ago があるので過去形が入る。  
 ② (to + 動詞の原形)が続くので going が入る。  
 (2) 後半のやりとりを読むと, 土曜日はヒロシの都合が悪く, 日曜日の午前中はベスの都合が悪いとわかる。エ「日曜日の午後」のように特定の日の朝・午後・夕方を表す語句の前には, on を使って「～に」を表す。  
 (3) 空所直後に原形 be があるのでア, イは不可。ウでは意味が通らない。エの it は前文までの「博物館へ行くこと」を指す。

**全訳** ベス: ヒロシ, 日本民家博物館って知ってる?  
 ヒロシ: 日本の民家?  
 ベス: そうよ。その博物館には日本の古い家屋のコレクションがあるのよ。  
 ヒロシ: ええと, 何年か前に家族とそこに行ったよ。とてもおもしろかった。  
 ベス: ほんとう? いっしょに行って案内してほしいな。  
 ヒロシ: もちろん。  
 ベス: ありがとう! ここの土曜日は何か予定がある?  
 ヒロシ: うん。家族と買い物に行くんだ。ここの日曜日はどう?  
 ベス: 午前中はテニスをするつもりだけど, 午後なら時間がありそうだわ。  
 ヒロシ: わかった。日曜日の午後に博物館へ行こう。  
 ベス: ありがとう, ヒロシ。楽しくなりそうね。

## 6 助動詞

### ◆基本問題◆

→ p.22 ~ p.23

- 1 (1) can (2) Can, can't [cannot] (3) may (4) can [may]  
 2 (1) must (2) must, not  
 3 (1) have to (2) don't have to (3) should (4) must (5) Must  
 4 (1) 今, (あなたと)話してもよいですか (2) 私を駅まで連れて行ってくれませんか。 (3) あなたのかばんを運びましょうか。 (4) 公園(の中)を散歩しませんか。  
 5 (1) He must [has to] work hard. (2) Mike should do his homework. (3) You mustn't [must not] call that woman. (4) May [Can] I take a picture?

6 (1) ア (2) ウ (3) イ

**解説** 1 (1) 主語によって助動詞の形はかわらず, 助動詞のあとは必ず動詞の原形になることに注意。

(2) 助動詞の疑問文は「助動詞 + 主語 + 動詞の原形 ~?」の形。答えの文でも助動詞を使う。

(3)(4) may には「推量」「許可」の2つの意味がある。

2 (1) 義務を表す must 「～しなければならない」。(2) must not は禁止を表す。

3 (2) 「～する必要はない」の肯定文。「～しなければならない」は must でも表せるが, must not は「～してはいけない」と別の意味を表すので注意。(4)(5) must には「義務」「推量」の2つの意味がある。

4 (1) May I ~? に対して, Yes, you may. / No, you may not. は目下の人に対する返答になるので注意する。

(3)(4) Shall I ~? は「(私が) ~しましょうか」という申し出を, Shall we ~? は「(いっしょに) ~しませんか」という勧誘を表す。

(3) carry 「～を運ぶ」

(4) walk 「散歩する」

5 (1) 主語が3人称・単数なので has to ~にする。

6 (1) 「お客さまのお手伝いをしてもよいですか」という文で「いらっしゃいませ」の意味を表す。

(2) 「お客さまのコートをお預かりしましょうか」と申し出る文を選ぶ。

(3) 「ドアを開けてくれませんか」と依頼する文を選ぶ。

## ◆ 演習問題 A ◆

⇒ p.24

1 (1) イ (2) エ (3) イ (4) ウ

2 (1) has, learn[study]

(2) Shall, please

(3) we, let's

(4) will, be, able

3 (1) Shall, we

(2) You, mustn't

(3) Will[Can], you

4 (1) you must get up now

(2) You don't have to use

(3) May I speak to Miho

(4) will you close the door

**解説** 1 (1) Does Mary have to ~? に対する返答なので、Yes, she does./No, she doesn't have to. となる。否定の返答は have to もともなうことに注意。

(2) you を使って答えることに注意する。

(3) 依頼を断る否定の答え方。依頼を引き受ける肯定の答え方には All right./OK. などがある。

(4) Must I ~? に対しては Yes, you must./No, you don't have to. と答える。

2 (1) 主語が 3 人称・単数なので has to ~ にするが、learn[study] には -s をつけない。

(2) 申し出に対しては、Yes, please./No, thank you. などで答える。

(3) 勧誘を表す Shall we ~? に対しては、Yes, let's./No, let's not. で答える。

(4) 「~できるようになるでしょう」は will be able to ~ で表す。

4 (1) 「起きなさい」を「起きなければならない」と考えて、must を補う。

(2) don't と to があるので have を補って (don't have to + 動詞の原形) の形にする。

(3) 「~さんをお願いします」を「~さんと話してもよいですか」と考える。

(4) you を補って、依頼の文を作る。

## ◆ 演習問題 B ◆

⇒ p.25

1 (1) May[Can] I use the computer tomorrow?

(2) Shall we play tennis next Sunday?

[Let's play tennis next Sunday.]

(3) Will[Can] you help me?

(4) You should talk[speak] to Mr. Suzuki.

2 (例) You mustn't[must not] run in the library.

(例) You should use your cell phone outside.

3 (1) ①ア ②エ

(2) 1. ○ 2. ○ 3. ×

**解説** 1 (1) 「~してもよいですか」May[Can] I ~?

(2) 「~しませんか」Shall we ~? / Let's ~.

(3) **別解** Will you please help me? / Will you help me, please? 「~してくれませんか」Will [Can] you ~?

(4) 「~すべきである」は should で表す。

2 **別解** You must be quiet in the library. / You can't[cannot] listen to music here. / You have to eat or drink outside. / You mustn't speak on[by] your cell phone. など。should, shouldn't, can't, must, mustn't, have to などを使って、図書館内で「走ること」「(大声で)話すこと」「音楽を聞くこと」「飲食すること」「携帯電話で話すこと」をしないように注意する文を作る。

3 (1) ①は依頼、②は義務を表す。

(2) 1. 本文 1~2 行目に一致。

2. マコトの 2 番目の発言で、ジュディに英語の宿題を手伝ってもらえないかと依頼していることからわかる。

3. マコトの 3 番目の発言とそれに続くジュディの返答から、ジュディはマコトたちのいる市立図書館に向かうつもりだとわかる。

**全訳** マコト：もしもし。マコトです。ジュディさんをお願いします。

スミスさん：はい。ちょっと待ってね。

ジュディ：こんにちは、マコト。どうしたの？

マコト：やあ、ジュディ。ええと、アミとぼくは英語のスキットを書いているんだ。それで、今、その英語の宿題を手伝ってもらえないかな？

ジュディ：もちろんよ。どこにいるの？

マコト：今、市立図書館にいるんだ。こっちに来てよ。

ジュディ：いいわ。だけど、今すぐは行けないわ。今、部屋のそうじをしているの。まずそれを済ませてしまわないと。だから 1 時間ぐらいかかるんじゃないかしら。

マコト：わかった。ぼくたちは自習室にいるね。



## ◆基本問題◆

→p.26~p.27

- 1 (1) is (2) was (3) are (4) were  
 2 (1) is, under (2) are, on (3) are, in  
 3 (1) is, not  
 (2) were, not  
 (3) weren't  
 (4) aren't  
 4 (1) Are, there, there  
 (2) Were, there, weren't  
 (3) Was, there, was  
 (4) Is, there, isn't  
 5 (1) How many pencils are there in the box?  
 (2) How many bookstores were there near his house then?  
 (3) How many bikes are there in front of her house?  
 6 (1) Are there four classes on Saturdays?  
 (2) There was a dictionary on my desk.  
 (3) There weren't [were not] any children on the train.  
 (4) There are some pictures on the wall.  
 (5) How many people are there at the party?

**解説** 1 空所直後の名詞から考える。単数の人やものが続く場合は is [was], 複数の人やものが続く場合は are [were] を使う。

- 2 (1) 「～の下に」 under, (2) 「～(の上)に」 on, (3) 「～の中に」 in。ものや人の場所や位置を表す前置詞には, by 「～のそばに」, near 「～の近くに」などもある。  
 3 be 動詞のすぐあとに not を置く。  
 (3)(4) 空所の数から短縮形を使う。  
 4 be 動詞を there の前に置く。答えるときも there を使う。  
 5 下線部の数をたずねる疑問文にする。  
 (3) 答えの文が単数であっても, 「～がいくつありますか」とたずねるときは (how many + 名詞の複数形) になる。in front of ~ 「～の前に」  
 6 現在の文は There is [are] ~, 過去の文は There was [were] ~ で表す。  
 (3)(4) 肯定文では some, 否定文・疑問文では any と使い分けることに注意する。  
 (5) (how many + 名詞の複数形) のあとは, are there の語順にする。

## ◆演習問題 A◆

→p.28

- 1 (1) is, on  
 (2) are, many  
 (3) are, days  
 (4) were, no [weren't, any]  
 (5) How, were  
 2 (1) are  
 (2) has  
 (3) no  
 3 (1) There are two bikes by  
 (2) There is no bridge  
 (3) there any rackets over  
 4 (1) Yes, there is.  
 (2) No, there aren't [are not].  
 (3) Yes, there is.  
 (4) There are three (parks on it).

- 解説** 1 (1) 「(壁)にかかっている」は on で表す。  
 (3) twenty-eight も twenty-nine もどちらも複数なので are を使う。day も複数形にする。  
 (4) 「1つ [1人] も～ない」は, not any ~ または (no + 名詞) を使って表す。  
 (5) 数をたずねる過去の疑問文なので, (How many + 名詞の複数形 + were there ...?) になる。  
 2 (1)(2) 「～がある = ～を持っている」と考え, There is [are] ~. は have の文に書きかえられる。ただし, 固有名詞や (the [this, my] + 名詞) のように特定のものや人は, have [has] の文では表せても There is [are] ~. の文では表せないことに注意する。  
 (3) not any ~ は no ~ とほぼ同じ意味を表す。  
 3 (2) over 「～の上(方)に」  
 (3) over there 「むこうに [へ]」  
 4 (1) 「駅の近くに学校はありますか」  
 (2) 「地図上に図書館は2つありますか」  
 (3) 「地図上に書店はありますか」  
 (4) 「地図上に公園はいくつありますか」

## ◆演習問題 B◆

→p.29

- 1 (1) There's [There is] a new library near my house.  
 (2) Were there a man and a woman under the tree two hours ago?  
 (3) There wasn't [was not] a bed in my room

last year. /

There weren't [were not] any beds in my room last year.

- 2 (1) (例) Yes, there are. [No, there aren't.]
- (2) (例) There are two stations. [There is no station.]
- 3 (1) 海で泳いでいる男の子の写真
- (2) are
- (3) ③ chair ④ hundred

**解説** 1 (2) 過去の文で、「男の人と女の人」と複数なので were を使う。場所・時間を表す語(句)は、ふつう文末で(場所を表す語(句)+時間を表す語(句))の語順になる。

(3) **別解** There was no bed [There were no beds] in my room last year.

not を用いずに, no bed(s) を使って表すこともできる。

- 2 (1) 「家にコンピュータはありますか」
- (2) 「あなたの家の近くには駅がいくつありますか」数をたずねる疑問文には(There is[are] + 数字(+名詞))で答える。語数が4語と指定されているので, There is[are] ~ station(s). の文で答える。

- 3 (1) タモツの最初の発言の第3~5文を読む。
- (2) すぐあとに differences があるので are にする。
- (3) Bの絵を見て, ③ねこのいる場所, ④紙に書いてある数字を見つける。

**全訳** グリーン先生: 6つのちがひがあります。教えてください。

タモツ: Aではカレンダーが5月10日, 土曜日になっていましたが, 今は9月10日, 水曜日になっています。5月10日には男性が窓のそばに立っていましたが, 今はその男性と1人の女性がそこにいます。テレビの上に写真があります。今は男の子の写真です。彼は海で泳いでいます。でも, 5月10日には車の写真でした。ねこがテーブルの上にいましたが, 今はいすの上にあります。5月10日に男の子は手紙を書いていたのですが, 今は読書をしています。

グリーン先生: そのとおり。もう1つちがひがありません。絵を注意深く見てください。

タモツ: わかりました。5月10日に紙の数字は10でしたが, 今は300です。

## 3 名詞・冠詞・代名詞

### ◆基本問題◆

→ p.30 ~ p.31

- 1 (1) girls (2) boxes (3) watches (4) libraries (5) teeth (6) women (7) boys (8) leaves (9) tomatoes (10) children (11) Japanese (12) men
- 2 (1) money (2) is (3) cups, of (4) pieces[sheets], of
- 3 (1) a (2) an (3) TV (4) the
- 4 (1) yours (2) your (3) ours (4) hers
- 5 (1) 午前8時です。(2) きょうは何曜日ですか。(3) けさはくもっていました[くもりでした]。
- 6 (1) Some (2) any (3) one
- 7 (1) anything (2) something (3) nothing

**解説** 1 (2)(3)(9) x, ch, o で終わる語には -es をつける。(4) (子音字 + y) で終わる語は, y を i にかえて -es をつける。(8) f[fe] で終わる語は f[fe] を v にかえて -es をつける。(11) 単数形と複数形が同じ。

- 2 (1) money は物質名詞なので複数形にはできない。(2) water は数えられない名詞なので単数扱い。(3) milk などの液体のものは物質名詞。物質名詞を数えるときは a cup of ~, two cups of ~ のように容器などを表す名詞を数える形で表す。(4) paper は物質名詞なので, piece[sheet] の単位を使って数える。
- 3 (1) 「(不特定の)1つのベッド」は a bed と表す。(2) 母音の直前では an を使う。(3) 「テレビで」は on TV。テレビ放送を表すときは a, an, the をつけず, 複数形にもしない。(4) 「午前[午後, 夕方]に」は the を使って in the morning[afternoon, evening] となる。
- 4 所有格(〜の)のあとには名詞が続くが, 所有代名詞は単独で(〜のもの)の意味を表す。(2) あとに名詞が続いているので所有格 your。(3) whose を使って「だれの〜」とたずねているので, 「私たちのもの」ours で答える。(4) her bag「彼女のかばん」= hers「彼女のもの」
- 5 ここでの it は「それは」と訳さない。(2) what day は「何曜日」を表す。「何日」と日付をたずねているのではないことに注意する。
- 6 (1) 肯定文で「(〜の)何人か[いくつ]」は some。(2) not がないので nothing「何も〜ない」を使う。

❖ 演習問題 A ❖

→ p. 32

- 1 (1) theirs (2) our (3) knife (4) sheep  
 2 (1) the, school  
 (2) a, hers  
 (3) glasses, water  
 (4) something, cold  
 3 (1) are, his  
 (2) It, snows  
 (3) didn't, anything  
 4 (1) イ rain  
 (2) イ its  
 (3) ウ the  
 5 (1) left home an hour  
 (2) green jacket is mine

**解説** 1 (1)「所有格-所有代名詞」, (2)「主格-所有格」, (3)「複数形-単数形」, (4)「単数形-複数形」の関係にする。

(4) sheep は単数形と複数形が同じ。

- 2 (1) 〈play the + 楽器〉の形。建物・場所を表す名詞が本来の目的・機能を示す場合は無冠詞。  
 (2) 「～の友達(の1人)」と言うときは(a friend of + 所有代名詞)。冠詞, 所有格, thisなどは並列できないので a her friend とは言わない。  
 (3) 容器を表す glass を複数形にかえて, 物質名詞 water はそのままの形にする。  
 (4) ～thing を修飾する形容詞は, ～thing のすぐあとに置く。  
 3 (1) 〈所有格 + 名詞〉は所有代名詞を使った文に書きかえられる。「彼」の場合は所有格(彼の), 所有代名詞(彼のもの)のどちらも his になることに注意する。  
 (2) snow を「雪が降る」という意味の動詞として使う。天気を表すときは it を主語にする。  
 (3) nothing は not ～ anything で書きかえられる。  
 4 (1) rain は数えられない名詞なので複数形にできない。  
 (2) it's は it is の短縮形。it の所有格 its を入れて「この公園はその桜の木で有名です」という文にする。  
 (3) 「～番目」を表す語(序数)には the をつける。イ year は子音で始まる語なので a でよい。  
 5 (1) hour は母音で始まるので an をつける。  
 (2) 〈that[this] + 形容詞 + 名詞〉の語順。

❖ 演習問題 B ❖

→ p. 33

- 1 (1) These two cities are popular.  
 (2) English is an interesting subject.  
 (3) Is this desk hers or his?  
 (4) There are a lot of[many] people in Tokyo.  
 2 (1) (例) Is it raining now?  
 (2) (例) How about a cup of tea?  
 (3) (例) I want something hot[warm].  
 3 (1) mine (2) others  
 (3) 1. beautiful, picture 2. go, buy

**解説** 1 (2) interesting のすぐ前なので an をつける。  
 (3) 「彼女のもの」 hers, 「彼のもの」 his. 「～か…」は 〈～ or …〉で表す。

(4) 「人々」は people で表す。peoples は「民族, 国民」の意味で用いるので適切とはいえない。

- 2 (1) 天気をたずねるので, 主語を it にする。  
 (2) tea は物質名詞なので, a cup of tea, two cups of tea のように数える。「～はいかがですか」 How about ～?  
 (3) 「何か温かいもの」は something hot[warm] の語順になる。  
 3 (1) whose を使って「だれの～」とたずねているので, 「私のもの」 mine で答える。  
 (2) Some ～ and others … 「～の人もいれば, …の人もある」  
 (3) 1. 「手ぬぐいには何がかかれていますか」メアリーの2番目の発言の第3文にある。  
 2. 「次の日曜日にメアリーとスズキさんは何をされるつもりですか」2人の最後のやりとりからわかる。

**全訳** メアリー: スズキさん, これはだれのハンカチですか。

スズキさん: 私だよ。

メアリー: ああ, あなたのですか! 私はあなたのハンカチがとても好きです。きれいな絵がかかれていますね。

スズキさん: ありがとう。メアリー, それは手ぬぐいよ。ハンカチとはちがうわ。日本ではハンドタオルとして使う人もいれば, 友達にプレゼントとして贈る人もいるのよ。あなたもほしい?

メアリー: はい, ほしいです。

スズキさん: 良いお店を知っているの。次の日曜日にそこに行って手ぬぐいを買いませんか。

メアリー: もちろん! いい考えですね, スズキさん。

## ◆基本問題◆

→p.34~p.35

- ① (1) When (2) Whose (3) Who (4) What  
(5) Why (6) Where
- ② (1) イ (2) ア (3) エ (4) ウ
- ③ (1) How (2) How, old (3) How  
(4) How, much (5) How, about
- ④ (1) How, long (2) How (3) How, many  
(4) How (5) How, old (6) How, tall
- ⑤ (1) don't (2) aren't (3) is
- ⑥ (1) Aren't, are (2) No, wasn't
- ⑦ (1) あなた(たち)はどこでテニスをしますか。  
(2) あなた(たち)は先月、いくつ映画を見ましたか。  
(3) 彼女の家はどれですか。  
(4) 次の[こんどの]日曜日はどうですか。  
(5) 私たちと買い物に行くのはどうですか。

**解説** ① (2) whose は「だれのもの」を表す。「だれの～」を表して Whose house is that? でも「あれはだれの家ですか」とほぼ同様の文になる。

- ② (2) 名詞を使って「～のもの」を表す場合、単数名詞は -s、複数名詞は -s' となる。  
(3) Why ~? には Because ~. で答えることができる。  
(4) ウの one は疑問文の bag を指す。
- ③ (1)(3) how は形容詞や副詞をとまなわず単独で使われて(1)「状態」、(3)「方法」をたずねる。  
(2) How old ~? は建物などが完成してから何年たっているかたずねるときにも用いる。
- ④ (6) 身長をたずねるときは How tall ~? を使う。
- ⑤ (1)(2) 肯定文なので、否定の付加疑問を作る。  
(1) 一般動詞の文では、do[does, did]を使って付加疑問を作る。  
(2) 付加疑問では主語を代名詞で受ける。Emma and Yuri は3人称・複数なので、付加疑問では they が使われていることに注意する。  
(3) is の否定文なので、is を用いて肯定の付加疑問を作る。
- ⑥ (1)(2) 肯定の内容ならば Yes、否定の内容ならば No と答える。否定疑問文では、Yes は「いいえ」、No は「はい」と英語と日本語が逆になるが、日本語につられないように注意する。
- ⑦ 応答文の日本語も参考にする。  
(4)(5) How about ~?, Why don't you ~? は「提案」を表す。

## ◆演習問題 A◆

→p.36

- ① (1) イ (2) イ (3) ア (4) エ
- ② (1) What, color(s) (2) Who, did  
(3) don't, they (4) Why, Because
- ③ (1) What time[When] did you go to bed last night?  
(2) How long[How many days] are you going to stay here?  
(3) How did he go to the library last Sunday?
- ④ (1) How can I get to  
(2) kind of movie is popular  
(3) Why don't you have dinner  
(4) Don't you know this famous

**解説** ① (2) How many days ~? 「何日間～?」

- (3) あとに続く動詞が feel の場合は how が適切。  
(4) 応答文で「それ[この本]はおもしろい」と意見を述べていることから推測する。How about ~? は「～はどうですか[～についてどう思いますか]」と意見を求めるときにも使われる。
- ② (2) 主語をたずねる疑問文。疑問詞が主語になる疑問文の語順は肯定文と同じ。答えの文は〈主語 + do[does, did].〉の形。過去の文なので did。  
(3) 主語が3人称・複数の一般動詞の肯定文なので、否定の付加疑問 don't they になる。
- ③ (1) 時刻をたずねるため、what time[when] を使う。  
(2) 期間をたずねるため、how long[how many days] を使う。  
(3) 〈by + 乗り物〉は「～で」と交通手段を表す。図書館へ行った手段(方法)をたずねるため、how を使う。
- ④ (1) 「駅へはどのように行けますか」と考える。how で始め、can を用いた疑問文の形を続ける。  
(2) 「どんな種類の～」〈what kind of + 名詞〉  
(3) 「～してはどうですか」〈Why don't you + 動詞の原形～?〉  
(4) 「～しないのですか」という否定疑問文。否定文 You don't know ~. の don't を主語の前に置く。

## ◆演習問題 B◆

→p.37

- ① (1) Why is Jane so sad?  
(2) Which cake should I eat[have]?

(3) Weren't you in the park yesterday?

2 ① (例) Where are you [do you come] from?

② (例) How long will you stay in Japan, Mary?

③ (例) Can you play the guitar?

3 (1) ①ウ ②ア (2) エ

**解説** 1 (1) 理由をたずねる疑問詞 why のあとは疑問文の形が続く。「そんなに」は so で表す。

(2) 「どちらの[どの] ~」は〈which + 名詞〉で1つの疑問詞の働きをする。

(3) 否定疑問文。「いた」は was[were] で表す。否定文 You weren't ~. の weren't を主語の前に置く。否定疑問文では必ず短縮形を使うことに注意。

2 **別解** How many brothers and sisters do you have? / What's your favorite Japanese food? / Why did you come to Japan? / How many languages can you speak? / Who's your favorite singer? / How do you come to school? など。③は Yes / No をたずねる文でもよい。

3 (1) 先生の返答から、どの疑問文なのか推測する。①冊数を答えているので、数をたずねるウ。②期間を答えているので、期間をたずねるア。  
(2) ア ケンの最初の発言から、音楽の本を探していることがわかる。イ 先生の2番目の発言から、蔵書数がわかる。ウ 先生の最後の発言から、閉館の時刻は6時だとわかる。エ ケンは残り15分だと言っているので、時刻は5時45分だとわかる。

**全訳** ケン：すみませんが、音楽についての本が見つかりません。

先生：いっしょに来て。手伝うわ。

ケン：ありがとうございます。図書館を訪れるのは、はじめてなんです。

先生：私たちの図書館はとても大きいよ。およそ9,000冊の本があるの。

ケン：そんなにたくさん？ 何冊借りられますか。

先生：一度に3冊よ。

ケン：わかりました。どれくらいの間借りられますか。

先生：2週間よ。見て、これらの本はすべて音楽についての本よ。

ケン：すごい！ 手伝ってくれてありがとうございます。

先生：ところで、図書館は午後6時に閉館なの。あまり時間がないわよ。

ケン：わあ、15分しかないよ！

# 10 不定詞

## ◆基本問題◆

→p.38~p.39

1 (1) go (2) to be (3) is (4) to take

2 (1) to, listen (2) To, drive (3) to, help

3 (1) to, see[meet] (2) to, go (3) to, buy (4) to, hear (5) to, get (6) to, win

4 (1) To, play

(2) To, answer

5 (1) many TV programs to watch

(2) anything to read

(3) no time to enjoy

(4) something hot to drink

6 (1) 正午に雨が降り始めました。

(2) 彼女はケーキを作るためにいくつか卵を買いました。

(3) 私にはするべき宿題があります。

(4) 私たちはあなた(たち)に会えてとてもうれしいです。

**解説** 1 (1) 目的語になる不定詞。

(2) 「~になる」は be 動詞で表す。to のあとなので原形 be になる。

(3) 主語になる不定詞は、名詞の複数形が含まれていても3人称・単数扱いになることに注意する。

(4) 補語になる不定詞。

3 (1)~(3) 「~するために」と目的を表す。

(4)~(6) 感情を表す形容詞のあとにくる不定詞は「~して」と感情の原因・理由を表す。

4 Why ~? には〈To + 動詞の原形~〉で答えられる。

5 名詞の後ろに不定詞を置いて、名詞を修飾する。

(3) 「~するための時間」は time to ~。「まったく~ない」は〈no + 名詞〉の形で表す。

(4) 〈~thing + 形容詞 + 不定詞〉の語順。

6 (1) 目的語になる名詞的用法。to rain が動詞 start の目的語になる。start to ~ 「~し始める」

(2) 目的を表す副詞的用法。to make a cake 「ケーキを作るために」が bought some eggs の目的を表す。

(3) 形容詞的用法。名詞 homework を to do が「するべき(宿題)」と後ろから修飾する。

(4) 原因・理由を表す副詞的用法。感情を表す形容詞 happy の原因・理由を to meet you 「あなた(たち)に会えて」が表す。

## ◆ 演習問題 A ◆

→ p.40

- 1 (1) ウ (2) イ (3) エ (4) ア
- 2 (1) to, buy  
(2) to, take  
(3) to, hear
- 3 (1) Does Tom have a lot of work to do?  
(2) Do you want anything cold to drink?  
(3) Why did you get up early?  
(4) What do you want to be in the future?
- 4 (1) does not like to use  
(2) I am sorry to hear  
(3) We began to work at  
(4) have a plan to make

**解説** 1 (1) 過去の文でも〈to + 動詞の原形〉の不定詞の形はかわらない。

- (2) something to say 「何が言うこと」  
(3) 名詞を後ろから修飾する形容詞的用法。places to visit 「訪れるべき場所」  
(4) To read books 「本を読む[読書する]こと」が主語。主語になる不定詞は3人称・単数扱い。

- 2 (1) 形容詞的用法で「新しいギターを買うためのお金がまったくない」と書きかえる。  
(2) 目的を表す副詞的用法で「写真をたくさんとるためによく東京に行く」と書きかえる。  
(3) 第1文が第2文の原因になっているので、原因・理由を表す副詞的用法で書きかえる。heard は hear の過去形。

- 3 (1) 疑問文でも不定詞の形はかわらない。  
(2) cold は anything のすぐあとに置く。  
(3) 下線部の to 以下は目的を表すので、目的(理由)をたずねる Why ~? の疑問文にする。  
(4) 「あなたは将来、何になりたいですか」

- 4 (1) 否定文でも不定詞の形はかわらない。  
(2) sorry は「残念で、申し訳なく思っ」の意味。すぐ後ろに不定詞を置いて、その理由を表す。  
(3) 「～し始める」begin to ~  
(4) 「～する予定」〈a plan + 不定詞〉

## ◆ 演習問題 B ◆

→ p.41

- 1 (1) There is nothing to do now. [I have nothing to do now.]  
(2) I came[got/went] home early to watch TV.  
(3) To go to bed[To sleep] early is very important.

2 (例) I like to play baseball. My dream is to play baseball at Koshien Stadium. So I want to be a member of the baseball team.

- 3 (1) 習った単語を使おうとする[試みる, 努める]こと/学校生活や友達について書くこと/毎日、英語を書くこと  
(2) もう一度あなたの音楽を聞きたいというクミの言葉を聞いたから。  
(3) She practices the piano[it] for two hours.

**解説** 1 (1) nothing を使うので not は不要。

(3) 「早く寝ること」To go to bed[To sleep] early が主語。

2 **別解** I like to read books, and my favorite one is 'Harry Potter.' But I'm not good at English. So I want to study English hard and read books in English. want to ~, like to ~ などを使って、取り組みたいことを表現する。また, so(だから), for example(たとえば)などを用いて理由や具体例を示すとまとまりのある文章になる。

- 3 (1) 1月10日の日記の後半に、ヨシダ先生の発言が引用されている。その内容を大きく3つにまとめる。  
(2) 下線部のすぐあとの to hear those words が理由を表す。この those words は下線部のすぐ前にあるクミの発言を指している。  
(3) 「ケイコは毎日何時間ピアノを練習していますか」1月21日の日記の最後の文からわかる。

**全訳** 1月10日(木曜日) ヨシダ先生は「書くことは英語を勉強するよい方法です」と私たちに言いました。先生の英語の授業は楽しく、彼はとてもじょうずに英語を話します。彼はたくさんの物事について英語で話します。私はヨシダ先生のように英語を話したいです。彼はまた、「きみたちは英単語をいくらか習いましたね。それらを使ってみなさい。きみたちの学校生活や友達について書きなさい。毎日、英語を書くことが大切です」と言いました。だから、私はきょうからそれをするつもりです。

1月21日(月曜日) 朝、教室でクミが私に「あなたはきのう、演奏会でピアノをととてもじょうずにひいていたわ! 私は姉[妹]といっしょにそこにいたのよ」と言いました。私はそれを知りませんでした。だから、私は驚きました。クミと私は音楽について話し、楽しみました。彼女も音楽が好きです。彼女は「私はまたあなたの音楽を聞きたいわ」と言いました。私はその言葉を聞いてうれしかったです。私はじょうずにピアノをひきたいので、毎日、2時間練習しています。

## 会話表現

→p.42~p.43

- 1 (1) May[Can], speak, to, Speaking  
 (2) Wait[Just], minute  
 (3) Could[Would], the, way, to  
 (4) turn, left, at  
 (5) on, left, miss  
 (6) May[Can], help, you  
 (7) looking, for (8) Here, are, Here, is  
 (9) I'll, take[buy]
- 2 (1) ウ (2) イ (3) エ
- 3 (1) (例) I'll take[buy] it.  
 (2) (例) May[Can] I speak to Ken or Emi?  
 (3) (例) Where's the park?  
 (例) Could[Would] you tell me the way to the park?
- 4 (1) エ (2) ウ

**解説** 1 (4) go straight (along the street) 「(通りを)まっすぐ進む」

(5) on *one's*[the] right[left] 「右[左]側[手]に」

2 (1) 直後の A の文から、名前をたずねられているとわかる。電話で名前をたずねる場合は Who's speaking[this]? と言う。

(2) 直前の B 「道を教えられない」と直後の A 「そうします」から、「むこうの男性にたずねてみたらどうですか」と B が提案していると考える。

(3) セーターの値段をたずねている。

3 (3) 道をたずねる場合には Could[Would] you tell me the way to ~? だけでなく Where ~? で簡単に聞くこともできる。ほかに I'm looking for ~./I want to go to ~./How can I get to ~? などの表現も使われる。

4 地図を実際になぞり、目的地や現在地を確認する。

(1) 「(駅から)通りをまっすぐ行って、1つ目の信号を右に曲がると、左手に郵便局が見える」

(2) 「2つ目の信号を右に曲がってすぐのところには駅がある」のはウだけ。

**全訳** (1) 男性：すみません。郵便局はどちらですか。コウジ：この通りを進んで、最初の信号を右に曲がってください。左側に見えます。

(2) 女性：すみません。駅にはどうやって行けばよいですか。

エミ：ええと、この道をまっすぐ行って、2つ目の信号を右に曲がってください。すぐに見つかりますよ。

## 総合問題(1)

→p.44~p.45

- 1 (1) played (2) mine (3) did (4) children
- 2 (1) エ (2) ウ (3) エ (4) イ
- 3 (1) There, was  
 (2) Shall, I  
 (3) something, black  
 (4) Will[Can], you
- 4 (1) plays, well  
 (2) mustn't, touch  
 (3) Whose, notebooks  
 (4) There, are  
 (5) Shall, we
- 5 (1) Why don't you ask Ms. Tanaka?  
 (2) How many chairs are there in the room?  
 (3) He doesn't cook well, does he?
- 6 (1) (例) arrived at [got to/reached] the hotel this evening  
 (2) (例) go to Nara by bus  
 (3) (例) going to take pictures in
- 7 (1) エ  
 (2) (例) (あすは天気がよくないので)ピクニックを来週末に延期すること。  
 (3) 1. No, he didn't.  
 2. It won't be good (tomorrow).

**解説** 1 (4) child[tʃaɪld] の複数形は children [tʃɪldrən]。-i の発音のちがいにも注意。

2 (4) 主語が3人称・単数でも be going to のすぐあとの動詞は原形でなくてはならない。

3 (3) (<~thing+形容詞)の語順になる。

5 (1) are が不要。(2) many を補う。

7 (1) 留守番電話のメッセージとして適切なのはエ。

(2) 直前の文の内容を簡潔にまとめる。

(3) 2. A の2番目の発言の第5文からわかる。

**全訳** A：もしもし？

B：申し訳ありませんが、ただ今、電話に出ることができません。発信音のあとにメッセージをお願いします。あとでお電話します。ありがとう。

A：(発信音)こんにちは、ポール。ナオミです。キヨシからたった今、電話があったわ。私たちは湖へのピクニックについて話したの。あしたは天気がよくないらしいわ。だから、来週末にピクニックへ行こうよ。この考えについてどう思う？ 電話してね。待っているわ。

## 総合問題(2)

→p.46~p.47

- 1 (1) ア (2) ウ (3) オ (4) イ (5) エ  
 2 (1) イ (2) ア (3) イ (4) ウ (5) イ  
 3 (1) ア (2) ウ (3) イ  
 4 (1) wasn't (2) didn't, have  
 (3) something, hot (4) am, not, singer  
 5 (1) May I speak to Emi  
 (2) You don't have to bring  
 (3) it takes about thirty minutes  
 6 (1) (例) There are three (people in my family).  
 (2) (例) I'll get up at six (tomorrow morning).  
 7 (1) Did you enjoy English today?  
 (2) ① 6時30分 ② 英語の歌を歌う  
 ③ スピーチの練習

**解説** 1 (1) Is there ~? の疑問文には, there と is を使って答える。

- (2) この how は「どのように, どうやって」という意味。通学的手段[方法]を答えるものを選ぶ。  
 (3) Will you ~, please? は依頼の文。答えるときは Sure. / I'm sorry I'm busy. などとも言う。  
 (4) 否定疑問文の答え方に注意。「好き」ならば Yes, I do., 「好きでない」ならば No, I don't.  
 2 (1) 主語が3人称・単数の現在の疑問文なので, <Does + 主語 + 動詞の原形~?>の形。  
 (2) 牛乳は a cup of milk, two cups of milk のように数える。a piece[sheet] of ~ 「1枚の~」, a pair of ~ 「1組の~」  
 (3) 未来の文。rainy は形容詞なので be 動詞とともに用いる。  
 (4) 主語になるように <to + 動詞の原形>にする。「朝食をとることはとても大事です」  
 (5) Why ~? に対して <to + 動詞の原形> で目的を答える。because を使う場合には, 後ろに主語, 動詞(の文)が続かなければならない。  
 3 (1) A は道をたずねているので, 場所を示す内容のAが適切。one は前の文の building を指す。  
 (2) 所要時間をたずねるウ, (3) 所要時間を答えるイが対話の流れとして適切。on foot 「徒歩で」  
 A は道をたずねる人, B はその質問に答える人。  
**全訳** A: すみません。アオヤマビルはどちらですか。  
 B: ええと, むこうに見えます。とても高い建物です。

A: ああ, 少し遠いですね。ここからどのくらい時間がかかりますか。

B: 徒歩で約15分です。

4 (1) 「ひまだった」「忙しくなかった」と正反対の意味の単語を使って同じ内容を表す。

(2) 「この町には多くの店はなかった」という文を作る。過去形を使うことに注意する。

(3) 「何か温かい飲み物」と考え, something hot (to drink) の形にする。語順に注意。

5 (1) 電話での会話。「~をお願いします」May [Can] I speak to ~, (please) ?

(2) have to ~ の否定文は, have の前に don't を入れる。to のすぐあとには動詞の原形を置く。

(3) It takes ~. 「時間が~かかる」

**全訳** (1) A: もしもし。タケシです。エミさんをお願いします。

B: こんにちは, タケシ。エミよ。

(2) A: 食べ物を持参しなければなりませんか。

B: いいえ。何も持参する必要はありません。(ただ) 私の家に来てください。

(3) A: 駅までどれくらいかかりますか。

B: ええと, 30分くらいかかります。

6 (1) 「家族の人数」を There are ~. で答える文。

(2) 「あしたの朝, 何時に起きるか」について I'll get up at ~. で答える文。

7 (1) <Did + 主語 + 動詞の原形~?>の形。

(2) ブラウン先生の説明から必要な情報を読み取る。① 最初の発言, 第3文参照。② 2番目の発言参照。③ 最初の発言, 最後から4つ目の文参照。

**全訳** ブラウン先生: あなたたちはきょう英語を楽しみましたか。あしたのことについて話します。あなたたちは6時30分に起床し, 部屋を清掃しなくてはなりません。7時に朝食をとります。それから8時30分に2号室に行ってください。全員えんぴつとノートが必要です。グループの人たちとスピーチについて話します。午後は, テニス, バスケットボール, またはケーキ作りができます。夕食後は, 24号室でスピーチの練習をしてください。あなたたちのスピーチの発表は3日目です。最もよいグループは賞がもらえます。何か質問はありますか。

アキコ: ブラウン先生, 私はけさテレビで天気予報を見ました, それであしたは雨が降るかもしれません。それではテニスはできません。何ができますか。

ブラウン先生: それはよい質問です, アキコ。英語の歌を楽しめます。いっしょに歌いましょう。